



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	NIFS KANOYA FC	A	○ 1 - 0	<p>第52回九州サッカーリーグ開幕おめでとうございます。関係各所の皆様開幕準備ありがとうございます。チームとしては今シーズンもこの舞台で試合ができることを非常に喜ばしく思います。</p> <p>開幕戦はNIFS KANOYA FCさんとの試合でした。勝ち点3をとって勢いに乗る為にも、負けられない試合でした。まずは守備の部分で後手に回らない、受け身にならない守備、攻守の切替の早さを意識してゲームに臨みました。前半で先制することができ、追加点を狙いましたがなかなか相手守備陣を崩すことができず、徐々に攻め込まれる形が多くなりましたが、選手全員が球際や最後のシュートブロックの所で体を張ってくれたため、無失点で終わることができました。厳しい試合でしたが、選手が勝ち点3を掴みとってくれました。</p>
2	ジェイリースFC	H	● 0 - 1	<p>2節のジェイリースFCさんとの試合は最低でも勝ち点1を取れるよう、まずは守備に関して全員で連動すること、先制されても集中力を切らさないことを伝え選手を送り出しました。立ち上がりセットプレーで失点してしまい、敗戦となりましたが選手たちは集中し最少失点での敗戦でした。</p> <p>2日間で出た課題を修正し次節に臨みたいと思います。</p> <p>最後に開幕の集中開催にご尽力いただいた、九州サッカー協会の皆様、九州サッカーリーグ事務局の皆様、審判団の皆様、運営の海邦銀行SC様、沖縄県サッカー協会様、BPの高校生の皆様、対戦していただいたNIFS KANOYA FC様、ジェイリースFC様、応援頂いたスポンサー様をはじめ川副クラブを支えていただいている皆様ありがとうございました。</p>
3	板付FC	H	○ 1 - 0	<p>第3節は板付FCさんとのホーム開幕戦でした。この試合の意味、そしてホーム開幕戦であること、必ず勝ち点3を掴みとりに行くことを伝えて送り出しました。</p> <p>中盤でボールの奪い合いになり、拮抗した展開が続きました。その中で選手達が集中力を切らさず、相手に流れを渡さないように頑張ってくれました。</p> <p>後半も同じような展開が続きましたが、際の部分で選手が体を張ってくれました。</p> <p>暑さもありましたし苦しい時間帯もありましたが、最後の最後まで攻守において選手が勝ち点3を目指して戦ってくれたことが結果に結びついたかと思います。</p> <p>結果的には交代出場の選手が得点とアシストを記録してくれました。結果を出してくれて感謝しています。</p> <p>結果を残してくれた交代出場の選手はもちろん、スタメンで頑張ってくれた選手、サポートをしてくれたメンバー外の選手、スタッフ、観に来ていただいた皆様、川副クラブに関わる皆様と全員で掴んだ勝利だと思います。</p> <p>最後に、対戦していただいた板付FC様、審判団の皆様、佐賀県サッカー協会の皆様、ボールパーソンをしていただいた佐賀学園高校サッカー部の皆様、応援に来ていただいた皆様、スポンサーの皆様ありがとうございました。</p>
4	日本製鉄大分	A	○ 2 - 1	<p>第4節は日本製鉄大分サッカー部さんとのアウェイゲームでした。</p> <p>タフに向かってくる相手に対して怯まずに勇気をもって戦うことを伝え、選手を送り出しました。</p> <p>序盤から球際での厳しい攻防が続き早い時間帯で失点を喫しましたが、選手達は下を向かず勝ち点3をとる事だけ考えてプレーしてくれました。</p> <p>前半終了間際に追いつき、後半も勇敢に戦ってくれた結果逆転勝ちで勝ち点3をもぎ取ってくれました。</p> <p>良い時間帯も悪い時間帯も常に勝つ事だけを考え、怯まずに体を張って強い相手に立ち向かってくれた選手達に感謝したいと思います。</p> <p>最後に、対戦していただいた日本製鉄大分サッカー部の皆様、審判団の皆様、大分県サッカー協会の皆様、ボールパーソンの皆様、アウェイ大分まで応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。</p>
5	ヴェロスクロノス都農	A	● 1 - 4	<p>第5節はヴェロスクロノス都農さんとのアウェイゲームでした。</p> <p>現在首位の相手に対し苦しい時間が多くなると予想される中、我慢して守備の強度を落とさず戦うように意識してゲームに臨みました。</p> <p>前半の中盤までは相手の厚みのある攻撃を防いでいいましたが、都農さんの一つのプレーの精度が高く30分過ぎに崩されて2失点し、後半も2失点と今シーズン初の複数失点でした。</p> <p>ただ、選手たちは下を向くことなく最後まで戦い何とか1点を取り返すことは出来ました。連戦で体力的にきつい中、最後まで走り続け戦ってくれた選手たちに感謝します。</p> <p>最後に対戦頂いたヴェロスクロノス都農様、宮崎県サッカー協会様、審判団の皆様、ボールパーソンの皆様、宮崎まで応援に来ていただいた皆様ありがとうございました。</p>



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
6	KMGホールディングスFC	H	△ 2 - 2	<p>第6節はKMGホールディングスFCさんとのホームゲームでした。</p> <p>現在無敗で2位の相手にどれだけ戦えるか、我々の現在地を試す試合になると選手を送り出しました。</p> <p>前半は我々が主導権を握り進めますが、後半はスタートから選手交代で勢いを増したKMGさんに主導権を握られる展開となりました。</p> <p>劣勢となった後半に先制され、なんとか追いつきドローに持ち込んだことはチームの成長を実感しますがまだまだ課題も多く改善が必要だと感じましたし、このチームの選手ならもっとできると思っています。常に自分達にベクトルを向けて次に進んできたいと思います。</p> <p>最後に、対戦していただいたKMGホールディングスFCの皆様、運営をしていただいた佐賀県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンをしていただいた三日月中学校サッカー部の皆様、暑い中応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。</p>
7	FC延岡AGATA	A	● 0 - 9	<p>第7週はFC延岡AGATAさんとのアウェイゲームでした。前期4位以内に入るためには、負けられない試合でした。</p> <p>立ち上がりからAGATAさんの出足の良さ、勢いに押されてしまい対応が上手いかず、後手に回ってしまい、連続失点を重ねてしまいました。</p> <p>自分たちの悪いところがはっきりと出たゲームになってしまいました。選手・スタッフ共に切り替えて、集中開催2連戦に向けて準備していきたいと思います。</p> <p>最後に対戦頂いたFC延岡AGATA様、運営頂いた宮崎県サッカー協会様、BPのFC延岡AGATAU-15の皆様、審判団の皆様、現地まで応援に来ていただいた皆様ありがとうございました。</p>
8	海邦銀行SC	A	○ 4 - 3	<p>第8節は海邦銀行SCさんとの試合でした。</p> <p>前半から点の取り合いになり、なんとか1点リードで折り返しました。海邦さんの攻撃力はある程度把握はしていましたが、予想を上回る強さでした。</p> <p>その中で相手の高い攻撃力以上に点を取り、勝ち点3を掴みとってくれた選手達に感謝したいと思います。</p> <p>第9節はBrewKASHIMAさんとの佐賀ダービーでした。</p> <p>天皇杯佐賀県予選決勝でPK戦で勝ちましたが0-0でしたので、今日この相手に勝って前期を終えようとして選手を送り出しました。</p> <p>開始1分で失点しましたがその後は立て直し、85分に追いつき90分に逆転し勝利することができました。</p> <p>この相手には結果が全てで正直なところ内容はどうでもよかったですし、相手より1点でいいので点を多くとって90分を終えることが我々の1番の目標でした。</p> <p>それを勝ち取ってくれた選手達を誇りに思います。</p> <p>2試合とも最後の最後に点を取り勝ちを手にしてくれました。試合終了の笛が鳴るまで勝ちを目指すチームのメンタリティが強固になってきたと感じています。</p> <p>結果の面では勝ち点6を取りいい形で前期を終えることができましたが2日間通して課題も多く出ましたし、まだまだな部分もありますので後期に向けて最善の準備を進めたいと思います。</p> <p>最後に、対戦していただいた海邦銀行SCの皆様、BrewKASHIMAの皆様、運営をしていただいた鹿児島県サッカー協会の皆様、NIFS KANOYA FCの皆様、審判団の皆様、ボールパーソンの皆様、鹿児島まで雨の中応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。</p>
9	Brew KASHIMA	H	○ 2 - 1	<p>第10週・11週は大分での集中開催でした。</p> <p>第10週はNIFS KANOYA FCさんとの試合でした。試合前には、前期の事は忘れて、1試合ずつ勝ち点を積み上げられるように全員で戦うことを伝え、ゲームに臨みました。</p> <p>前半にアクシデントで両チームの選手が負傷・中断しましたが選手たちは集中力を保ち、高い強度でプレーし勝ち点を得ることが出来ました。</p> <p>アクシデントの際は、迅速に対応していただいたMCの田重田様や九州サッカーリーグ事務局・九州スポーツカレッジの皆様・NIFSの保護者様ありがとうございました。</p> <p>第11週はジェイリースFCさんとの試合でした。上位に入るためには、勝ち点が1でも欲しい試合でした。</p> <p>まずは早い時間・簡単に失点しないことを意識してゲームに臨みましたが、前半終了間際に先制されてしまい、後半も残り10分のところで追加点を取られてしまいました。</p> <p>受け身に回りすぎてしまい、ジェイリースさんの攻撃に押し込まれたため、攻撃の際の推進力が出せず守備時間が長い試合展開でした。</p> <p>この連戦ではいいところと悪いところがはっきり出たと思うので、いいところは伸ばし悪いところは改善できるよう次の試合に向けてトレーニングしたいと思います。</p> <p>最後に、雨の中運営頂いたジェイリースFC様・日本製鉄サッカー部様・九州総合スポーツカレッジ様・九州サッカーリーグ事務局・審判団の皆様・BPの皆様、現地に応援に駆けつけてくださった皆様2日間ありがとうございました。</p>
10	NIFS KANOYA FC	H	○ 1 - 0	
11	ジェイリースFC	A	● 0 - 2	



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
12	板付FC	A	● 1 - 2	<p>第12節は板付FCさんとのアウェイゲームでした。</p> <p>結果的に1 - 2での敗戦となり攻守に課題の残る試合となりました。ただ、改善できる課題ばかりでまだまだこのチームが強くなれる伸びしろだと前向きに捉えたいと思います。</p> <p>この日の敗戦はトータルマネジメントできなかった僕の責任ですし、次の試合勝てるように最善の準備をしていきます。</p> <p>最後に、対戦していただいた板付FCの皆様、運営をしていただいた福岡県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンの皆様、福岡まで応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。</p>
13	日本製鉄大分	H	△ 1 - 1	<p>第13節は日本製鉄大分サッカー部さんとのホームゲームでした。</p> <p>自分達の目標達成の為に重要な試合となることを再確認し選手を送り出しました。</p> <p>厳しい暑さの中、マストでやるべき事と勇気を持ってチャレンジする事を選手達は遂行してくれました。</p> <p>その中で先制しますが後半アディショナルタイムに失点し引き分けに終わりました。アタッキングサードとディフェンシブサードの質で課題の残る試合だったと思います。</p> <p>次に切り替えていきたいと思います。</p> <p>最後に、対戦していただいた日本製鉄大分サッカー部の皆様、運営をしていただいた佐賀県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンをしていただいた佐賀農業高校サッカー部の皆様、非常に暑い中現地に応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。</p>
14	ヴェロスクロノス都農	H	● 1 - 5	<p>第14週はヴェロスクロノス都農さんとのホームゲームでした。</p> <p>負けなしの首位を相手に勝ち点を取るためにまずは失点しないことをテーマに臨みました。</p> <p>前半にゴール前でのコントロールシュートとセットプレーで2失点。後半もピッチを広く使った攻撃で3失点と厳しい結果となりました。</p> <p>守備の部分では上手くいった部分もありましたが、相手のゴール前でのプレー精度の高さに歯止めがききませんでした。</p> <p>まだ連戦は続き体力的にはきつくなってきますが、次節勝ち点が取れるようにトレーニングに励みたいと思います。</p> <p>最後に雷雨でキックオフが遅れた中、ご対応いただいたヴェロスクロノス都農様、MCの馬渡様、社会人連盟中窪様、審判団の皆様、BPの三日月中学校・かわそえFCU-15の皆様、ありがとうございました。また、雨の中応援頂いた皆様、ありがとうございました。</p>
15	KMGホールディングスFC	A	○ 2 - 1	<p>第15節はKMGホールディングスFCさんとのアウェイゲームでした。</p> <p>非常に厳しい暑さの中での試合となりましたが、チーム状況を考えると勝ち点3が必須でした。</p> <p>立ち上がりから相手の攻撃を受ける形になりましたが、守備陣を中心にタイトな守備で守り切り1つのチャンスを決め前半を折り返しました。</p> <p>後半開始早々失点しましたが、KMGさんの攻撃力を考えると1失点はゲームプランとしては許容範囲で、その後は落ち着きを取り戻しゲームを膠着状態にし、終了間際に何とか決勝点をとることができました。</p> <p>難しいコンディションの中で今日できる100%のプレーで戦い勝ち点3を勝ち取ってくれた選手達に感謝したいと思います。</p> <p>最後に、対戦していただいたKMGホールディングスFCの皆様、運営をしていただいた福岡県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンの皆様、非常に暑い中現地に応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。</p>
16	FC延岡AGATA	H	● 0 - 5	<p>第16節はFC延岡AGATAさんとのホームゲームでした。</p> <p>立ち上がりからミドルサードを制圧され終始厳しい状況となりました。前期大敗した相手に選手達はなんとか奮闘してくれましたが、結果としては0 - 5での敗戦となりました。</p> <p>ただ、チャンスが0ではなかったのでこの試合のように劣勢の中で1発刺せるかどうかが今後の課題だと思います。</p> <p>切り替えて中断期間後の9月の集中開催に向けて準備していきたいと思います。</p> <p>最後に、対戦していただいたFC延岡AGATAの皆様、運営をしていただいた佐賀県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンをしていただいたかわそえFCの皆様、非常に暑い中ホーム最終戦に応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。</p>



				監督談話
節	対戦相手	H/A	試合結果	
17	海邦銀行SC	H	● 2 - 3	<p>第17節は海邦銀行SCさんとの試合でした。</p> <p>1つでも順位を上げるために勝ち点3が必要な試合でしたが2点を先行され、なんとか追いつくも終盤に勝ち越され敗戦となりました。</p> <p>第18節はBrew KASHIMAさんとの試合でした。佐賀ダービーでプライドをかけた試合でしたので結果だけを求めて戦いました。</p> <p>結果的には1 - 2の敗戦となり、悔しさの残る90分でした。</p> <p>この2試合で勝ち点を0で終えたことは大きな反省であり、ピッチ上で起こる全ての事象と結果は監督である私の責任ですのでこの経験を来シーズンに活かしたいと思います。</p>
18	Brew KASHIMA	A	● 1 - 2	<p>最後に集中開催で対戦した海邦銀行SC様、Brew KASHIMA様、2日間集中開催の運営を行っていただきましたヴェロスクロノス都農の皆様、FC延岡AGATAの皆様、宮崎県サッカー協会の皆様、審判団およびボールパーソンの皆様、宮崎まで応援に来ていただいた皆様ありがとうございました。</p> <p>また、1年間良い時も悪い時も変わらず応援していただいた皆様、スポンサーの皆様、川副クラブに関わる全ての皆様、運営をしていただいた各地の方々、九州リーグに関わる全ての皆様に感謝致します。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>